

# 経営の樹を育てる会

【第43回】 5章・営業活性化計画 Q&A

開催・日時 : 東京校 令和3年10月15日(金)18:30~21:00  
場所 : アーバンサービス 2階ふくろう オープン & zoom配信  
出席者:【会場】山田(武)・鈴木(建)・鈴木(一)・山田(ふ)・金子(秀)  
【zoom】松本・鈴木(義)・鈴木(友)・渥美・金子  
会場5名 zoom 5名 計10名参加  
講師 : 古川益一  
司会 : 山田武久  
書記・HP・設営 : 鈴木健太郎・鈴木一弘

---

開催・日時 : 名古屋校 令和3年10月18日(月)18:30~21:00  
場所 : ウィンクあいち 1110室 オープン & zoom配信  
出席者:【会場】渥美・新田・真能・陸浦親子  
【zoom】安藤・澤越・榎本  
会場5名 zoom 3名 計8名参加  
講師 : 古川益一  
司会 : 渥美沙緒里  
書記・HP・設営 : 渥美沙緒里

## 1. 学んだこと 感想など

### ◆ 東京校・名古屋校

- ① 決算書の見方も意味も初めは全くわかりませんでした。何度も繰り返し教えていただくことにより、決算内容により変化する費用の捉え方や活用方法が少しずつ理解出来るようになってきました。  
黒字決算なのか、赤字決算なのかにより、それぞれ経費項目の性質が変化するのはですね。この仕組みをよく知って安定した黒字決算を続けることが出来るようになりたいと思いました。  
また、社長の経理は「財務」ということを学びました。過去の記録である経理をしっかりと見るのは当たり前、その上でこの先の経営判断に繋げていくのですね。  
経理の仕事を整理してムダ、ムラ、ムリのない経理業務を確立したいと思いました。
- ② 「財務は経営を円滑且つ、発展させるために行うこと」であること。  
これから起こるであろう経営活動を数字で計画すること。日々の財務戦略を実行する。  
信用度を落とすような決算は絶対に避ける。赤字決算となった時、どんなに悪くても2期連続で止める。  
黒字、赤字は結果論ではなく、決算は決めるもので結果ではないということ。

- ③ 財務健全化計画のテーマは、経営者又は会社の最も必須事項と思います。  
先ずは仕事をする前に、実行予算書作成、又は採算が合うように計画書作成し利益を見越すこと、そして変動費を見直してムダな経費を意識して削減すること、固定費の見直し、そうすることにより会社全体のお金のスリム化が出来て売上が上がらずとも黒字化が出来ると思います。この勉強会で何度も聞いていますと、財務の事を意識しざる負えなくなります。  
先ずは財務は社長次第なので、税理士や経理任せにせず、自分で把握することと思います。
- ④ 財務戦略を改めて勉強するにあたり、この分野に関してはとにかく実践してみる事が一番だと改めて感じました。  
税金についての考え方は、この会に参加して本当に良かったと思っています。特に純利益の「利益三分割法」で支払うべき法人税を、スタッフへ還元することでやる気を引き出し、且つ節税が出来ること(創税)。  
また当たり前ですが、消費税は預り金という意識を常に忘れず、常に売り上げの2~3%は口座を振り分けておくなど、どれも役立つノウハウばかりです。  
しかしながら、一瞬の気の緩みが大きく財務に影響する怖さもしっかりと肝に銘じ、売り上げの範囲内で黒字を継続し続ける状態を維持できるよう、引き続き学び、実践していきたいと思います。
- ⑤ 決算書や財務を疎かにしていたと今回の授業で気づきました。  
確かに決算書は会計事務所に任せていて、出てきた数字を見て一喜一憂して参考にもあまりしてこなかった。  
また財務が『社長の経理は財務』という先生の言葉にととても納得しました。  
財務は常に動いている、その動いている財務の中の問題点を見つけていき、改善して次の未来へ備える。この繰り返しなんだなと学ぶことができました。  
ありがとうございました。
- ⑥ 経常利益を黒字化にし、社会で必要とされる会社とする。  
決算書は、経営者の経営姿勢が見えるので、創税していきたいです。
- ⑦ どんなに苦しくても、黒字にする事。  
財務は苦手で、後回しにしてしまいがちですが、とても会社にとって重要で、責任のある仕事だと思いました。  
毎日の確認が大切ですね！
- ⑧ 決算書は会社の成績表に当たるものかと思いますが、その内容は会社の将来に大きな影響を与えるものと改めて感じました。黒字倒産の多さにも驚きました。  
過去の記録としてのみならず、将来への貴重な資料、武器にもなり得るというをしっかりと持ちたいと思いました。これからどうしていきたいのかということと決算書の中身が一致出来るよう、しっかりと取り組んでいきたいです。

- ⑨ 経営の三位一体の中でも財務はとても重要だと再認識しました。  
また、第1期は絶対黒字決算にする為に創立費等繰延資産を利用することを起業する時のコンサルティングとしてアドバイスが必要です。  
自分でもいつもながら経理財務会計分野は言葉が分かりにくくてなかなか理解出来ない方が多いので古川先生の講義はとても分りやすいです。
- ⑩ 黒字決算の重要性をすごく感じました。
- ⑪ 決算は計画するものを3年前に学び、昨年実行し、従業員さんに分配出来ました。今年はそのが出来ないと決めて決算しました。  
計画通りに決める事が出来ていないと学びました。

### ◎Comment

皆さんからの多くの感想を頂き感謝致します。  
それぞれポイントを摘んで下さり、本当に嬉しく思います。  
3本の枝の内、財務は目立ちませんが、とても大切なことです。  
私は「黒字決算がプロ経営者の証」である事をずっと叫んで参りましたが、現実には毎年黒字を続ける事は至難のことです。  
しかし、「決算は結果ではなく創るもの」の考え方に立てば連続黒字経営は、それ程難しいものではありません。  
この連続黒字決算は、抜群の信用力を生むことになり、経営全てに追い風となります。  
従って、黒字決算の技術はプロ経営者としてどうしても身に修めなくてはならない事です。  
当講座の内容をとことん学んで頂き、強固な経営体質を築いて下さい。

- ⑫ 日記に真理と感謝を書いてみます。

### ◎Comment

「一日一回は何か喜び、日々それを書き留める仕合せ」という言葉があります。  
真理の言葉も毎日書くと1年間に365にもなります。是非続けて下さい。

- ⑬ 黒字決算と赤字決算の違いが少し分かりました。もう少し勉強してみようと思います。

### ◎Comment

黒字と赤字決算の違いは表面上は足し算と引き算です。極めて単純なことです。  
しかし、財務という未来への展望の観点からすると、とても重要なことです。このことに気付かれて良かったと思います。

- ⑭ 決算は結果ではない。目的に沿って調整するということがびっくりです。  
また、税金がすごく高いことがわかったので、もっと国や県市に、物申していこうと思いました。

## ◎Comment

税金が高い事はありません。国や県市を維持運営してゆく為の大切な運営費です。問題は「赤字決算により税金を払わない」考え方が問題なのです。

多額納税者になる必要はありません。少額で構わないので黒字決算を貫き、胸を張って経営をしていって下さい。そして政府、行政の仕事は税金の分配責任です。コロナ対策はあまりに杜撰で目に余るものがあります。この分配の仕方に物申すことが必要と思います。

- ⑮ 日記を書く、PDS会議をする、実行予算書を作成する、など、出来ていない事ばかりです。これから始めて行きたいと思います。

## ◎Comment

なぜ出来ないのか？ を考えて下さい。完璧を求めるからです。きちんとやることではなく、取り敢えず実行して下さい。その間に徐々に良くなっていくものです。「最善を求めず次善を求めて即実行」です。

## 2. 質問にお応えします

### ◆ 東京校・名古屋校

- Q1. 社長は表向きの経費だけでなく、何かと出費がかさみがちです。そこで単純に役員報酬を増額する機会が多いとのこと、しかし自分への報酬が原因で税務倒産の憂き目を見ることのないよう、よくよく考えて決めなくてはならないとのことですが、役員報酬以外の資金捻出はどのようにすればよいのでしょうか。

## ◎Answer

役員報酬以外の資金捻出の方法については様々な方法がありますが、書面にする事は憚(はばか)られるので次回口頭にて説明します。

- Q2. 決算の状況により中間納税(期末に払う法人税&消費税)を5か月後にまた払わなければいけない事に大いに疑問を感じます。何かしらの対策を予め準備した方が良いでしょうか？

## ◎Answer

先ず税金に対する考え方を改める必要があります。「税金は払わせて頂くもの」です。税金を払うことによって社会の一員として認められ国や行政からの援助や補助金などが受けられる資格を得られるからです。問題になるのは、正しい納税方法を知らないことです。言い方を変えれば「税金は会社の信用を大きくするものであると同時に、会社の成長を妨げるものにもなる」ということです。

つまり利益が出たら課税されるのではなく、「会社の信用度アップの為に税金を払う」のであって、どんなことをしても黒字にして税金を払い続けることが、何より重要なことです。

このことを私は創税と言っています。  
尚、消費税は税金ではありません。「消費税と言う預り金」です。  
お客様から預かった売上の10%の消費税から商品仕入や外注費に支払った10%の差額をお返すことです。出来れば売上の2%程度を別枠で貯めておくことをお勧めします。

- Q3.** お陰様で人件費率がやっと40%を切りました。6人いた従業員が4人となり、少し現場を回すのにキツイことがでるかと思っておりましたが、それでも従業員は休みを取れています。無理して雇いすぎていたなと思いました。  
私の会社は固定給となっています。これを変動化するにあたり職安や労働基準局などから、何か注意みたいなものは来るのでしょうか？  
以前、職安で社員募集したところ、給料を固定ではないとしたら、職安からはそれだと殆ど人は来ないよと言われ、それ以来固定給での募集しかしておりませんでした。  
基本給は決めるとして、能力給は仕事にもよるとは思いますが、基本給から何%くらいを目安に報酬として支払うものでしょうか？

#### ◎Answer

世の中全てに陰と陽があることを考えて下さい。  
当勉強会は真理を説いています。簡単に言うと、職安や基準局は全て知識の世界です。知識とは形であり、環境により常に変化しています。  
これに対し真理は、誰も否定しようもない万人に共通するもの不変です。真理は陰と考えて下さい。  
例えば職安の募集要項の給料や賞与、更に残業時間など定めてありますが、これをまともに書くことは嘘をつくことになります。  
様々な環境変化により、一定の金額を支給することは不可能なことです。それでも記入しなければなりません。  
そのようなものである事を考えて対処して下さい。  
考えなくてはならない事は、折角入社して下さる社員に働き甲斐のある職場を作ってあげることです。  
つまり会社の業績が社員一人一人の収入に連動し、一心同体となれる仕組みをつくることです。金額や時間で決めることを働き方改革と言っていますが、社員の為を思い、働き甲斐改革に取り組んで下さい。  
(給与の決め方は Q&A 集、94頁、97頁を参考にして下さい。)

- Q4.** 経営のことを学んでまとめる時間がありません。どうやって落とし込んでいくようにしたら、より効果的なのでしょうか？  
時間が足りないのです、学んでも行動しきれないから、一つだけやる！という考え方でも、成果を出ますか？  
考える時間。行動する時間。他いろいろな時間の割り振りに迷います。  
経営やプライベートに対しての、一日の時間の使い方を、古川さんの場合、どんなことに、どれだけ時間を使って、心は満足するのでしょうか？ 可能なら教えてください。

### ◎Answer

考え方から変えて下さい。仕事の量と時間は関係ありません。  
テキスト31頁、プロ経営者10訓 3・「プロは時間の物差しが無い」の通りです。  
そして「仕事は忙しい人に頼め、暇な人には頼むな」も真理です。  
社長の仕事については、テキスト51頁、53頁をご覧ください。  
私の時間に対する質問ですが、決して難しいことをしている訳ではありません。  
プロ経営者10訓を守っているだけです。  
心の満足は再建が困難であればある程やる気が出て満足します。又忙しければ  
忙しい程満足します。  
忙しいという事は求めて下さる方がいる事ですから当然の事です。

- Q5.** 多種多様な節税対策や創税は税理士に聞いたり、自分で勉強していくものなの  
でしょうか？  
節税対策は何も問題ないものから、黒に近いグレーのようなものも存在するん  
でしょうか？

### ◎Answer

節税や創税は経理の仕事ではありません。経営の分野です。  
従って税理士に聞く事事態無理があります。節税対策は経営方針に沿って考える  
ものです。黒とかグレーとかという考えではなく経営の視点で考えるものです。  
徐々に理解していけるとと思います。

## 3. 勉強会で学ばれたい内容がありましたら教えてください。

1. 財務戦略に集中、コラボ戦略  
財務戦略、営業戦略、組織戦略

### ◎Comment

この3つは経営方針を具体化される計画です。  
特に大切なことは、この3戦略は別々に考える事ではなく、独立しながらも三位一体  
となって考えることです。  
「売上を下げながら利益を上げる」真理につながります。  
テキスト43頁にて説明します。

2. まだまだ分からない事ばかりなのと、考え方に慣れてないので、なんでも結構で  
す。何回も聞いてるうちに分かってくるとと思いますので、経営の事ならなんでも  
教えてください。

## ◎Comment

当勉強では知識と真理の調和による経営を説いています。知識を重んじて来た方は取組みにくいことかと思えます。

しかし、分かり始めると簡単です。経営そのものが楽しくなる筈です。気楽に続けて下さい。

### 3. 【仕事を任せる】というのはどこまでの事をいうのか学びたいです。

社長は社長の仕事、部下は部下の仕事と、割り切る事が苦手で、つい現場の仕事を手伝ってしまいがちです。

任せるよとは言いつつも、現場の状況を見ると任せきれないような気持ちになってきます。

小さな会社なので社長と社員の垣根は無い分、そうなるのかなとも感じています。口は出してはならないものか、口を出して良いとすれば、どのような事まで伝えるものか。この【任せていく】という事などまた学べる機会があると嬉しいです。

## ◎Answer

このように考えられるようになったということ自体、経営者に近づいている証と思います。

これは組織円滑化計画で学びます。大変奥が深いことですが、自然に理解出来て行くものと思います。

## 4. 勉強会を通じて、自社にどんな成長をのぞまれているか教えて下さい。

### ◆ 東京校・名古屋校

1. 真理を実践している経営者に成長する。
2. 経営者として今起きている事実をしっかりと見つめ、反省が出来るようになり、社員に安心を与えられるような自身にも会社にもなりたいと望んでいます。
3. 私もスタッフも、心地よく頑張って、人の役に立てるようにしたい。ですから、心地よくするために、自分の当たり前の基準を高める。  
周りの人達には押し付けられないような、成長愛を手に入れること、です。
4. 視野を広げで全体を見れるようになりたいです。どんな場合でも起こった事柄に対して陰陽二極二面で捉え、どうしていくと良いのか真理で見極められるようになりたいです。
5. 経営者として、事業を拡大し、社員が楽しさとやり甲斐をもって働き、社会貢献出来る会社をつくりたいです。
6. 新たなビジネス社内ベンチャーコンサルティング専門部署を立ち上げました。  
いずれは子会社として独立起業する為に財務会計専門から経営者としてトップとし

て学びたいと思います。

### ◎Comment

皆さん積極的でとても嬉しく思います。  
勉強会を始めてから足かけ5年になります。  
何度も参加して下さる方からは、経営というものの本質が分かってきたとの言葉を頂いています。

その方々は全て順調な経営をされています。

経営というものは、その仕組みや原理原則を理解してしまえば簡単なものです。

「経営は夢に満ち溢れたもの」になります。

当会では原理原則を真理と表現しています。

「知識は真理によって生きるもの」です。

そして真理を追究すればする程簡単になってゆきます。全ての問題に対し、答えを出せるようになります。判断ミスが無くなってゆきます。どうかその域に達するまで学び続けて下さい。私も当勉強会が皆さんのお役に立てるよう精進を重ねていきたいと思っています。

## 5. 勉強会への質問、要望などがありましたらご自由にお書きください。

### ◆ 東京校より

1. 講義の2時間30分ある中で、恐らく6割~7割の時間は事務局メンバーによるテキスト音読かと思っています。「経営の樹を育てる会」の特徴は海千山千の修羅場を乗り越えてきた、古川先生の経験と真理に裏付けられたお話だと思っています。出来れば、古川先生がお話をする時間の割合をもう少し高められた方が良いかな、と感じました。

### ◎Comment

御意見ありがとうございます。

私も出来ればもっともっと経営に突っ込んだことでしか聞く事の出来ない内容にしてゆきたいと願っています。

出来れば、Q&A集とテキストを予め読んでおいて頂けると時間の短縮となり、皆様からの質問にも答えられると思います。是非検討下さい。

2. フォローアップが欲しい。学びきれないので。

### ◎Comment

どうぞ遠慮なく御指摘下さい。出来る為、応援してゆきたいと思っています。

内容の濃い感想を頂き大変嬉しく思います。共に深め合っていきたいと思っています。ありがとうございました。

以上



